

## 第一回ワークシート

### 「国語」を哲学する 練習問題

学年( )学部( )学籍番号( ふりがな )名前( )

#### <問題1>

ある小説家の書いた小説が、大学入試の問題の題材として採用されました。そして、そこには「問1、下線部のセリフで主人公はどのようなことを意味していたのか答えなさい」という問題がありました。

受験生のAくんは自信満々に答えaを書きました。しかしながら、その答えは問題作成者Bが作った答えbとは違っていました。そんなはずはない!と思ったAくんはその小説を書いた小説家を探し出し(すごい執念です!)、その小説家Cに答えを問いました。しかし、彼が出した答えは意外にもaともbとも異なるcという答えでした……。

このとき、あなたならA、B、Cの三人のうちの誰の答えがもっとも正しいと思いますか。その理由も含めて考えなさい。(どれでもないと思う人も、これだけじゃ分からないという人も「敢えて言うなら…」という観点で選んでみてください)

①正しい答え( )

②そう考えた理由

( )

#### <問題2>

上の問題が小説ではなく、論説文だったとしたら、あなたの意見は変わりますか。もしも変わるならその場合の正しい答えとその理由を考えなさい(変わらないなら結構です)。

①正しい答え( )

②そう考えた理由

( )

＜受験生 A くん派＞

12名（うち、論説文だと C10名、B1名） ＜代表的意見抜粋＞

- ① 「小説は読み手がどう捉えるかが重要だから」
- ② 「小説の見方や感じ方は人それぞれ違って当たり前だから」
- ③ 「自分の経験から答えを出そうとしているわけだから、問題の製作者と解答者がまったく同じ人生を歩んでいない限り、答えは一致しない」

＜問題作成者 B さん派＞

32名（うち、論説文だと C8名） ＜代表的意見抜粋＞

- ① 「解答者は、問題作成者側の意図に答えることが、テスト〔入試問題〕というものだ」
- ② 「Bの答えは、入試問題と小説を切り取った範囲で論理的に導き出した客観的なものと考えられるため」
- ③ 「「どう感じるか」より「どの言葉からどのような心情であることが分かるか」という基準で問題は作成されるはずだから」
- ④ 「仮に答えが C でなければならぬのだとすると、小説家本人以外は小説を試験問題の題材にできなくなってしまう」
- ⑤ 「出題者が出したのは小説のある部分であって、…それは出題者の「作りもの」となるのだ」
- ⑥ 「「正しい」の意味がよく分からない。その問題の答えとして「正しい」のは b、A が a だと感じるならばそれが A くんにとって「正しい」解釈だし、元々その小説を書いた人が c だと思って書いているならその小説の理解として「正しい」というのは c ということになる…」

＜作者 C 派＞

26名（うち、論説文だと B2名） ＜代表的意見抜粋＞

- ① 「その小説の世界を作り出したのは小説家 C であり、主人公がどんな人物で、一つ一つの台詞にどんな気持ちが込められているのか、を決めるのも小説家 C であるから」
- ② 「A や B の読んだその小説の断片的なものなかでの答えが a や b であって、本当の全体的な意味では c だと考えたから」
- ③ 「主人公の台詞というある意味、意図的なものである以上、その意図をもつ小説家の答えが「正義」であるのはしかたない」
- ④ 「文章も芸術（表現）のひとつ。つくった人 C の思いが込められているから」

＜その他＞

4名

「小説を受け取る人、それぞれの価値観によって言葉の意味は変わってくるから、正しい答えがあるとは思わないから」

## 第一回授業レジュメ

<哲学入門講義>

### 第一回 「国語」を哲学する！ －言葉の「意味」って何だろう？－

#### 事前問題

(問題) 言葉の意味は誰のものか？

<考えられる三つの立場>

書き手 (話者) = 小説家C

読み手 (解釈者) = 受験生A

(言葉そのもの ⇔ 問題作成者B)

#### Q、 言葉が意味をもつための条件とは何か？

問1) 意味をもたない文 (ナンセンスな文) をつくってみよう！

問2)

① 土砂が流れてできた「川」という文字

② サルがタイプライターで書いたシェイクスピア

などは意味をもつと言えるだろうか？

→単なる音 (inu) やインクの染み (「イヌ」) が「意味」をもつためには何が必要か。

→「言語の哲学」の誕生！

## 1) 意味の指示対象説

言葉が何かを意味する＝その言葉が何かを指し示す

例) 富士山

### 合成原理 (the principle of compositionality)

…「文の意味はそれを構成する単語の意味によって決まる」

語の意味＝その語が指示する個体

文の意味＝その文が指示する事態

しかし、この立場は以下のような問題を抱えることになる

- ① 何も指示しない言葉の存在 (名詞以外の言葉: 「赤い」「走る」「そして」「こんにちは」)
- ② 同じ対象の異なる意味 (明けの明星、宵の明星)
- ③ 不在の対象の指示 (ペガサス、死んだ人)

## 2) 意味の観念説

・犬の意味・・・「イヌ」という語を話すときに、その話者の心の中でどのような観念をもっていたかによって決まる。

→<問2への答え>

「イヌ」と「dog」という異なる記号で同じことを意味することが可能であるのは、それぞれの記号を用いる話者が同じ観念をもっているから。

しかし、この立場も以下のような問題を含む

- ① 心の中の観念は、本当に言葉の意味を決定することができるのか?
- ② 私とあなたが同じ観念をもっている (同じ意味でその語を用いている) ということはどのようにして分かるのか?

### 第三回授業レジュメ

#### 哲学入門講義

#### 第三回 「国語」を哲学する！

2009/10/30

#### 1、意味の（使用）規則説 <（フレーゲ）ウィトゲンシュタイン 20世紀初頭>

（・語の意味は関数である。

「犬」という語の機能→「xは犬である」の真理値を与えること

（例）xがタマならば偽、xがポチならば真）

・言葉の意味はその使用規則によって与えられる。

例) 将棋というゲームにおける「歩」の意味

= 「歩」をどのように動かすことが許されるかのルールによって決まる

⇔木製のコマ、プラスチックのコマ

同様に、言語ゲームにおける「犬」という語（「犬が走っている」という文の意味）の意味

= 「犬」という語（「犬が走っている」という文）をどのような場面で使うことが許されるかのルールによって決まる

問1への回答

ナンセンスな言葉

→それがどのような場面で使われるのか分からない言葉

例) 「ダベデベテベ」が雨が降っているときにのみ使われる

→「雨が降っている」に近いことを意味することになる

1)

①の難点に対して、

「こんにちは」→ゲーム内でやりとりされるボールのようなもの

③の難点に対して

「ソクラテス」ってどういう人のこと？

→「ギリシアの哲学者」、「よく生きると言った」「死刑になった」…

（固有名の記述説）

2)

①の難点に対して、

同じ状況で使用することによって、同じ意味であることが担保される

②の難点に対して

他者によって間違いを訂正することができる

⇒事前問題の B に近い

## 2、意味のコミュニケーションモデル <デイヴィトソン 20世紀後半>

→「意味」を用いない意味の説明

- ・ 「犬」という語の使用規則なんてものは本当に存在するのか？

例) あいつは警察の犬だ。

あの足の短いフランクフルトってかわいいよね。

→「比喩」や「言い間違い」を理解するための規則はあらかじめ存在しない。

→「根源的解釈 (radical interpretation)」

クワイン

「根源的翻訳 (radical translation)」…フィールドワーク言語学者は、自分の意味理論を一つ一つ適用して、異国の言語を理解していく

→「翻訳の不確定性」…唯一の翻訳マニュアルは存在しない

デイヴィトソン

「根源的解釈 (radical interpretation)」…話者の発話をそのつど解釈者が手持ちの意味理論(「当座理論」(passing theory))を訂正しながら、その意味するところを解釈していく。

→語の意味は、解釈者の一人称的視点からそのつど帰属される(「合理性」の制約のもと)。ゆえに、あらかじめ決まった「意味」なるものは存在しない。

「言語というものは、もしそれが多くの哲学者や言語学者が想定してきたようなものであるとするならば、存在しない」(by デイヴィトソン)

⇒事前問題の回答者 A くんに近い

### 3、 言語相対主義：サピア＝ウォーフの仮説

#### 「言語は世界を分節化する」

例)山と谷

「はじめに言葉ありき。言葉は神とともにありき。言葉は神なりき」

エドワード・サピア(1884－1939)はアメリカの言語学者であり心理学者でもある。インディアン語の研究にすぐれた功績を残し、文化人類学者としても優秀であった。言語の相対性については彼はドイツの言語思想の流れをくんでいたため、そこで出会ったものである。もう少し詳しく述べるとカリフォルニア大学時代のボアズの考えから非常に強く影響を受けているらしい。

ベンジャミン・リー・ウォーフ(1897－1941)は防火工学の技師で火災保険の調査員等もしていたのだが言語学に興味がありサピアの元で彼の言語理論を学んだ。そこでサピアの言語相対性の仮説に触れて彼の仮説を支持する論文を発表していった。

例) 山田は雪を見ている。

日本人にとっての「雪」

→ちらつく白いもの、地面に降り積もったもの、氷のようになったもの、ぬかるんだもの  
→イヌイットにとってはすべて別の名前と呼ばれる

例) ニューギニアのダニ族

「モラ」…白と暖色

「ミリ」…黒と寒色

→ダニ族の言語では「さっきまで空が青かったが、今は真っ黒だ」ということを意味することができない！

異なる言語

→異なる世界を見ている??

→異なる世界を生きている???